

おわりに

1. ～提言までを振り返って～

銚子市観光振興コンサルティング事業は、銚子信用金庫が目指す姿を象徴する「ウレシイ！しんきん」をシンボル・メッセージに実施した銚子信用金庫創立100周年記念事業における地域貢献事業のひとつで、ちょうししんきん100年プロジェクトの検討部会である地域貢献ワーキンググループにて取り組みました。

「ウレシイ！しんきん」とは、お客さまがウレシイ、職員がウレシイ、地域がウレシイ・地球環境がウレシイの三点を意味するもので、これは、お客さま・職員・地域との共生と発展を目指す当金庫の経営理念・経営方針につながっております。

地域貢献ワーキンググループでは、地域活性化を取組むべき重要課題としたうえで、銚子市の地域経済活性化に貢献することを目的に、銚子市の基幹産業のひとつである観光業の活性化への取組みを昨年6月にスタート。その後、銚子市役所・銚子商工会議所・銚子市観光協会・千葉科学大学・信金中央金庫と銚子信用金庫を委員とした銚子観光振興協議会を立ち上げ、10月にキックオフミーティングを開催して本格的な検討に入りました。

銚子市は、温暖な気候と新鮮で豊富な魚介類により、古くから人気の観光地でありましたが、他地域へのアミューズメント・パークの進出など、観光レジャーの多様化による観光業界の環境の変化から宿泊客は減少傾向にあり、近年は厳しい状況が続いています。

この様な状況を踏まえて、本事業では将来の目標像を「滞在型観光地の確立」としてスタート。観光業の抱える問題点を調査・検討し、現状や課題を明らかにするとともに、銚子市観光活性化の方向性を検討してきました。

まずは、銚子市の各種データを収集して他地域との比較分析を行い、次に、観光地としての現状把握を目的にアンケート調査とヒアリング調査を実施しました。アンケート調査は銚子市住民への銚子市活性化に関するアンケート、来街者への銚子市観光アンケート、関東圏住民への千葉県銚子イメージ調査などを実施、市内外の一般住民・事業者から約1,600件の回答をいただきました。また、ヒアリング調査は市内の観光事業関係者など19先・21名に対して実施し、アンケート調査の結果を踏まえた内容の調査と実態の把握および今後の展望など詳しく聞くことができました。

この調査は、信用金庫のネットワークと独自性と言うべき足を使ったFace to Faceでの生の情報収集を実践しており、多くの銚子市民の方々の地域への思いや考えを確認すると共に、他地域からの意見についても把握することで、銚子市観光の現状や問題点を明らかにすることができたと考えます。

現在、銚子市では銚子市観光協会をはじめ、さまざまな団体が低迷する観光業の活性化に向け努力しておりますが、その連携は不十分と言わざるをえません。このことは、提言書本文の活性化の方向性を検討する中でも課題とされている「てんでんしのぎ」と「立地による優位性（努力なく与えられたもの）」に表しているとおりで、つまり、銚子市民は代々、共通認識や協力関係の維持を苦手とする文化や環境にあり、それが今日まで続いているということです。

そのため、今回の提言では、各団体の連携強化を図るため、各団体を結びつけるつなぎ役を担う組織作りを最優先で取組むべきとしています。

これは、銚子市内のさまざまな場面で行っている各団体の活動を否定するものではありません。逆に、銚子市を活性化しようとするエネルギーを信じているからこそ、連携により更に大きな活動にさせていただきたいという期待と、リーダーとなる組織をつくることで、短期的で自己利益を追い求める活動から、長期的かつ地域全体での利益を生むための活性化の施策を実行する活動へ変化しなければ、活性化はできないという考えからの提言であります。

また、各団体の連携強化と同様に重要なポイントとして「地元住民」についての検討も行い、提言の中に組み込んでおります。これまで、観光事業活性化の検討を行う際には、その多くが観光客など来街者の増加を目的とした内容で進められていました。しかし、地元住民が利用しない施設や店舗は、観光客も利用していない事実から、観光事業についても観光客のみではなく地元住民をターゲットとした施策の実行と、住民参加の必要性について提言をしています。

多くの銚子市民が同じ方向を向いて活動するためには、①地元住民がまず銚子の魅力を知ること、②観光事業者と地元住民が友好的な協力関係を構築すること、が必要と考えます。

本提言書では、地域金融機関として独自の視点を盛り込み、将来像実現へ向けた観光活性化の方向性を示すことができたと考えておりますが、ひとつひとつの具体的な施策に対しては、さまざまな立場の方々から、以前に取組んだが実現できなかった、もっと良い活性化の方法や提案があるなど、多くのご意見があると思います。

どうぞ、この提言書をたたき台に、どの施策が実現する可能性が高いのか低いのか、更に検討するべき点など、活性化に関する議論を深めていただき、結果として地域の住民や事業者が一体となった取組みに発展していただけたら幸いです。